土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	三原東城線 道路災害防除事業に伴う業務委託
事業名 または 工事名	三原東城線 道路災害防除事業
調査目的及び調査対象	道路 構造物基礎

ボーリング名	Bor. No. 2	調査位置	広島県神石郡神石高原町相渡					北緯	34° 50′ 28.1866″
発注機関	広島県東部建設事務所			調査期間	2022年 1月 29日 ～ 2022年 1月 30日			東経	133° 12′ 33.9093″
調査業者名		管理技術者		照査技術者		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	T.P. 393.07m	角度	180° 上下 90° 0°	方位	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直 90° 40°	使用機種	試錐機 東邦地下工機D 0
総削孔長	6.00m								エンジン ヤンマーNTD12 M　ポンプ 東邦地下工機BG 2

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
	392.97	0.10		表土		褐				粘土混じり砂礫。植物片を含む。	
	392.27	0.70		粘土質砂礫		褐				5～40mm角礫を含む砂礫層。粘土分多い。	
1	391.77	1.20		玄武岩		暗青灰				コアは棒状、破砕されている。	
2				玄武岩		黒灰、暗青灰				全体に棒状コアで採取される。ハンマー打撃により金属音を発する。 ・GL-3.10～3.15、3.10～4.25m石英脈 ・GL-5.00～6.00mキンツに沿って石灰質（粘状）多なる。断点状に石灰質。	
3											
4											
5											
6	387.97	6.00									

標準貫入試験																					試料採取			原位置試験	削孔日
深度－N値図 0 10 20 30 40 50	N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	
(13.35/30) →	1.5	1.10	16	33－30		50－130	130						
(50/30) →	500	2.20 2.30	50－20			50－20	30						1.70
(50/20) →	750	3.20 3.30	50－20			50－20	20						
(50/10) →	1,000	4.20 4.3	50－10			50－10	10						
(50/10) →	1,500	5.20 5.3	50－10			50－10	10						
(50/10) →	1,500	6.20 6.3	50－10			50－10	10						1.70